

新潟県立大学第4期中期目標（素案）の概要

※太字は主な追加・修正箇所

項目		内容	
基本的な目標 (前文)		「国際性の涵養」「地域性の重視」「人間性の涵養」の基本理念の下、グローバルな視点から地域づくりを担う中核的な人材を育成し、新潟から世界に向けて情報発信するとともに、交流の輪を広げ、教育研究の成果を地域に還元して、持続的な地域の発展と共生社会の実現に貢献することを目指す。	
第 1	中期目標の期間	2027年度から2033年度まで	
第 2 教育研究上の質の向上に関する目標	1 教育	(1) 教育の成果	・ グローバルな視野と語学力、実践的能力を備えた人材の育成 ・ 地域の特性や課題への理解を備えた人材の育成 ・ 変化する時代を乗り切る知力ある人材の育成 ・ 少子高齢化に対応する専門性を備えた人材の育成 ・ 国際関係の政策分析能力とコミュニケーション能力を備えた世界で活躍できる人材の養成 ・ 健康栄養分野等において、中核的役割を担う 高度専門職業人 を養成するとともに、 グローバルな視野と高度な専門知識・スキル、研究力及び実践力を有する高度専門研究人材の養成
		(2) 教育の内容	・ アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜の実施 ・ カリキュラム・ポリシーに基づいた教育課程の編成 ・ ディプロマ・ポリシーに基づいた適正な卒業認定の実施 ・ 学部との教育的連携の強化【大学院】
		(3) 教育の実施体制等	・ 適切な教員配置、自習環境や図書館機能等の充実 ・ 教育に対する自己点検・評価の実施、FD活動等を通じた改善 ・ 国の大学教育改革に関する支援プログラムなど活用した教育の質の向上
		(4) 学生への支援	・ 個別相談指導体制、学生が自主的に学習できる制度・環境の充実 ・ 経済的支援、課外活動支援、健康相談の充実 ・ 就職・起業、進学など進路選択へのきめ細やかな支援 ・ 県内産業界と連携し、 学生に県内企業への関心を高めてもらう取組を行う など県内定着に向けた就職支援の充実
	2 研究	(1) 研究水準及び成果等	・ 地域課題や産業界のニーズに対応した研究への取組 ・ 研究成果を客観的に評価し、研究水準や成果の検証を実施
		(2) 研究の実施体制の充実・強化	・ 研究分野や予算配分の重点化などにより研究実施体制を充実・強化 ・ 研究成果を社会へ還元するシステムを充実・強化
	3 地域貢献・国際化	(1) 地域や社会との連携・協力	・ 大学施設の開放、学生の地域活動への参加の促進 ・ 県民の学び直しを支援するため、リカレント講座をはじめとするライフステージ等に応じた学習機会の充実 ・ 初等中等教育機関との連携推進
		(2) 産学官連携の推進	・ 「新潟県におけるシンクタンク」の役割の推進 ・ 産業界、他大学、行政等との連携による地域課題解決への取組
		(3) 国際化の推進	・ 海外の大学・研究機関との相互交流等、 全学及び学部 の国際化を推進 ・ 県民の多文化理解促進や外国人との交流などへの協力
	第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標		
	1	運営体制の改善	・ 戦略的で機動的な大学運営 ・ 学内資源の効率的かつ柔軟な配分 ・ 外部の意見、自己点検・評価や監事監査結果を業務運営に反映 ・ 柔軟かつ弾力的な人事制度の運用、勤務時間の適切な管理 ・ 人事評価システムの適切な運用、評価結果に基づく処遇 ・ 公募制などによる優秀な人材確保と適切な配置 ・ 外部委託や適切な人的配置による効率的・合理的な事務組織の編成 ・ 事務の集中化・電算化・情報化の推進
		人事の適正化	
事務の効率化・合理化			
第 4 財務内容の改善に関する目標			
1	自己収入の増加	・ 科研費、受託研究費等の外部研究資金の獲得 ・ 授業料等学納金の適切な料金設定及び施設を活用した収入の確保 ・ 教育研究水準の維持・向上と経費節減の両立 ・ 資産の適正かつ有効な運用管理	
	経費の節減		
	資産の運用管理の改善		
第 5 自己点検・評価、外部評価の実施及び評価結果の活用に関する目標			
1	自己点検・評価の実施	・ 評価の実施と評価結果の業務改善への活用 ・ 多様な広報媒体を活用した大学情報の積極的公表	
	情報提供		
第 6 その他業務運営に関する重要事項			
1	コンプライアンスの推進	4 情報管理 5 人権 6 環境保全の推進	
	施設の効率的整備		
	安全管理		